

東都

大傳

馬街

長谷川家は、三井家・小津家・長井家などとともに、松阪を代表する江戸店持ちの豪商です。

延宝二年（一六七五）、二代政幸が江戸大伝馬町（目黒）

之木綿店「丹波屋」を創業し、その後、同町内に四店舗、

三河国平坂（愛知県西尾市）に一店舗を開業しました。

明治以降、経営形態は大きく変わったものの、近年まで

創業以来の地で脈々と営業を続けてこられました。

平成二十五年、松阪市は長谷川家から松阪の創業以来の

土地・建物とともに、約八万七千点にも及ぶ

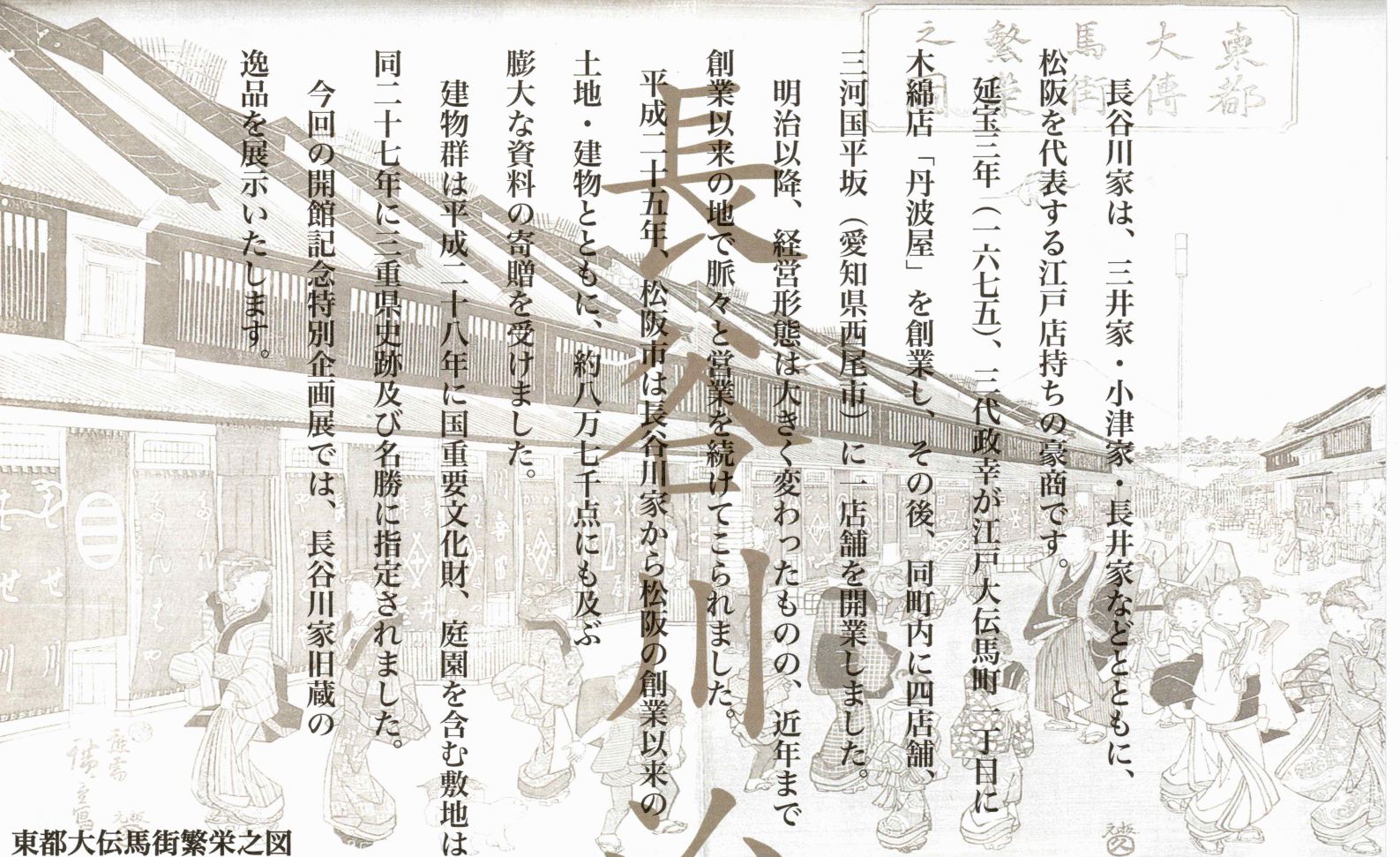
膨大な資料の寄贈を受けました。

建物群は平成二十八年に国重要文化財、庭園を含む敷地は

同二十七年に三重県史跡及び名勝に指定されました。

今回の開館記念特別企画展では、長谷川家旧蔵の

逸品を展示いたします。



東都大伝馬街繁栄之図

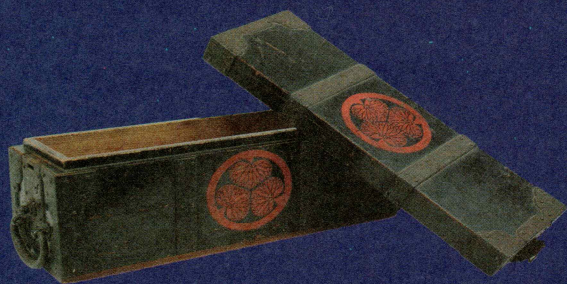
長谷川兵衛家



蒔絵盃台



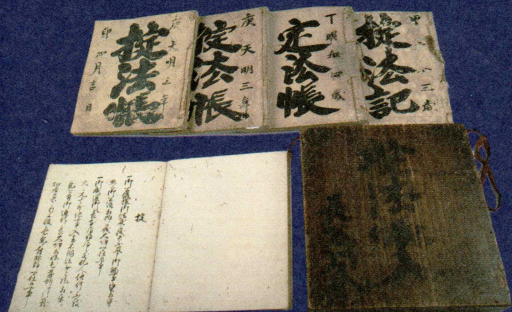
千両箱（鍵付き）



紀州藩御用文書箱



大福帳類



掟法帳類



さまざまな貨幣

主な展示品（期間中入替えあり）